

平成24年度 第1回首都圏渋滞ボトルネック対策協議会 議事概要

1. 日時 平成24年6月29日(金) 14:00~16:00

2. 場所 都道府県会館 101大会議室

3. 出席者

池田 豊人 (関東地方整備局 道路部長) [会長]

高井 嘉親 (関東地方整備局 道路企画官)

只野 智明 (代) (関東運輸局 交通環境部次長)

椎名 康雄 (代) (警視庁 交通技術担当管理官)

尾上 和志 (代) (埼玉県警察本部 交通管制センター所長)

鵜澤 政幸 (代) (千葉県警察本部 理事官兼交通管制センター長)

新倉 聡 (代) (神奈川県警察本部 交通部管理官(交通技術官))

野呂瀬 貞隆(代) (埼玉県 道路政策課 副課長)

鈴木 昭利 (東京都 道路保全担当部長)

笠間 順 (代) (神奈川県 道路企画課 副課長)

手塚 茂昭 (代) (山梨県 理事)

藤井 格 (代) (横浜市 横浜環状道路担当理事)

山田 彰彦 (代) (川崎市 建設緑政局 計画部長)

中台 公明 (千葉市 建設局長)

角南 勇二 (代) (さいたま市 技監)

藤井 弘造 (代) (相模原市 参事(幹線道路担当))

中川 裕明 (東日本高速道路(株)関東支社 管理事業部長)

日比野 進弘 (中日本高速道路(株)東京支社 保全・サービス事業部長)

斉藤 康博 (中日本高速道路(株)八王子支社 保全・サービス事業部長)

柳橋 則夫 (首都高速道路(株) 計画・環境部担当部長)

辻 保人 (関東地方整備局 大宮国道事務所長)

遠藤 和重 (関東地方整備局 千葉国道事務所長)

渡辺 学 (関東地方整備局 東京国道事務所長)

森 勝彦 (関東地方整備局 横浜国道事務所長)

田村 央 (関東地方整備局 相武国道事務所長)

乙守 和人 (代) (関東地方整備局 甲府河川国道事務所 副所長)

4. 議 事

(1) 挨 拶

- ・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審 議

1) 首都圏渋滞ボトルネック対策協議会規約(案)について

- ・ 事務局より説明された首都圏渋滞ボトルネック対策協議会規約(案)は、了承された。
- ・ 関東地方整備局 道路部長を会長として選出

2) 首都圏ボトルネックについて

(渋滞箇所について)

【中日本(株)八王子】

- ・ 中央道小仏トンネル付近は付加車線等の設置による対策を実施しているが、渋滞解消まで至っていない状況。渋滞の要因は車線数の減少のみでなく、そもそもは交通集中である。

【中日本(株)東京】

- ・ 東名高速大和トンネル付近は、下り線でも渋滞が発生しているため、上り線と合わせて懸念箇所となっている。

【千葉市】

- ・ 千葉市内京葉道路の穴川IC付近の渋滞は、国道16号と国道357号をつなぐ(都)新港横戸町線が整備されたことも交通集中の要因の一つとなっている。
- ・ 最近、木更津に大型商業施設が開業して、アクアラインが渋滞している。

【相模原市】

- ・ 平成24年度～26年度とさがみ縦貫道路の開通が予定されており、相模市内の国道16号が非常に渋滞しているため、この開通によりかなり渋滞解消するのか、注視している。

【関東運輸局】

- ・ 大井埠頭とか青海埠頭、その辺の渋滞というものがだいぶ激しいというふう
に、トラック協会等の物流業界から要望がある

(渋滞指標について)

【中日本㈱八王子】

- ・「渋滞量」はマクロ的に渋滞を表すのに非常に良い指標であるが、車線数の概念が入っていない。渋滞にはまった方々の渋滞損失時間のようわかりやすい指標を使用してほしい。

【首都高速道路㈱】

- ・高速道路と都市高速を同じ指標を使用するのは、だいぶ性格が違う道路なので出来れば分けてほしい。
- ・平均旅行速度とあるが、首都高速の旅行速度は平均してしまうと、課題が曖昧になってしまうので事務的に調整が必要である。

(渋滞箇所の抽出について)

【警視庁】

- ・都内は、単純に考えれば渋滞箇所が他県より当然多いと考えるが、他県とのバランスを検討してほしい。

【東京都】

- ・あくまでボトルネック対策なので、個別のボトルネック箇所をしっかりとチェックした上で首都圏で共有し、即効性のある個別対策を実施していく。

【横浜市】

- ・首都圏の各都県市が集まって実際の対策等について議論するというは、非常に意義がある。市と県のいずれで見たときも、ローカルのプライオリティーは多少ずれがあっても良い。

各都県市が集まっているので、首都圏レベルで見たときに「どうだ」というような観点での議論は重要である。

【事務局】

- ・各都県毎の移動性向上委員会も開催し、その中で詳細に意見交換をしながら進めていきたいと考えている。この場だけで意見を頂くだけでなく各県からの意見も頂いて進めていく。

(渋滞対策について)

【事務局】

- ・箇所はデータで見た場合にどのような観点で整理していくのかが重要である。箇所によっては、速やかに対策を講じる箇所もあれば、中長期的に考える箇所もある。また、ハード的な対策でなく、ソフト対策を組み合わせ実施していく箇所等、いろいろな箇所がある。

(今後の予定)

【事務局】

- ・今後の進め方は、第2回を7月下旬、第3回を8月中、とりまとめを年内に行う予定。

以上